

障害福祉サービスの利用

1 サービスの全体像

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(以下「障害者総合支援法」といいます。)によるサービスと児童福祉法によるサービスで構成されています。

障害者総合支援法

自立支援給付

介護給付

- ・居宅介護(ホームヘルプ) P25
- ・重度訪問介護 P25
- ・行動援護 P25 ・同行援護 P25
- ・短期入所(ショートステイ) P27、123
- ・重度障害者等包括支援
- ・生活介護 P26 ・療養介護 P28
- ・施設入所支援 P27、P106

訓練等給付

- ・自立訓練(機能・生活訓練) P26
- ・就労移行支援、就労継続支援 P26
- ・就労定着支援 P26
- ・共同生活援助 P27
- ・自立生活援助 P28

計画相談支援給付

- ・サービス利用支援
- ・継続サービス利用支援

地域相談支援給付

- ・地域移行支援、地域定着支援

補装具 P29

自立支援医療 P63

- ・精神通院医療、更生医療
- ・育成医療

地域生活支援事業

- ・相談支援 P14
- ・意思疎通支援 P29
- ・移動支援 P29
- ・日常生活用具給付又は貸与 P31
- ・地域活動支援センター P121
- ・福祉ホーム P122

など

児童福祉法

障害児通所支援給付

- ・児童発達支援 P97、98
- ・医療型児童発達支援
- ・居宅訪問型児童発達支援
- ・放課後等デイサービス P98
- ・保育所等訪問支援 P105

障害児入所支援給付

- ・福祉型障害児入所支援 P96
- ・医療型障害児入所支援 P96

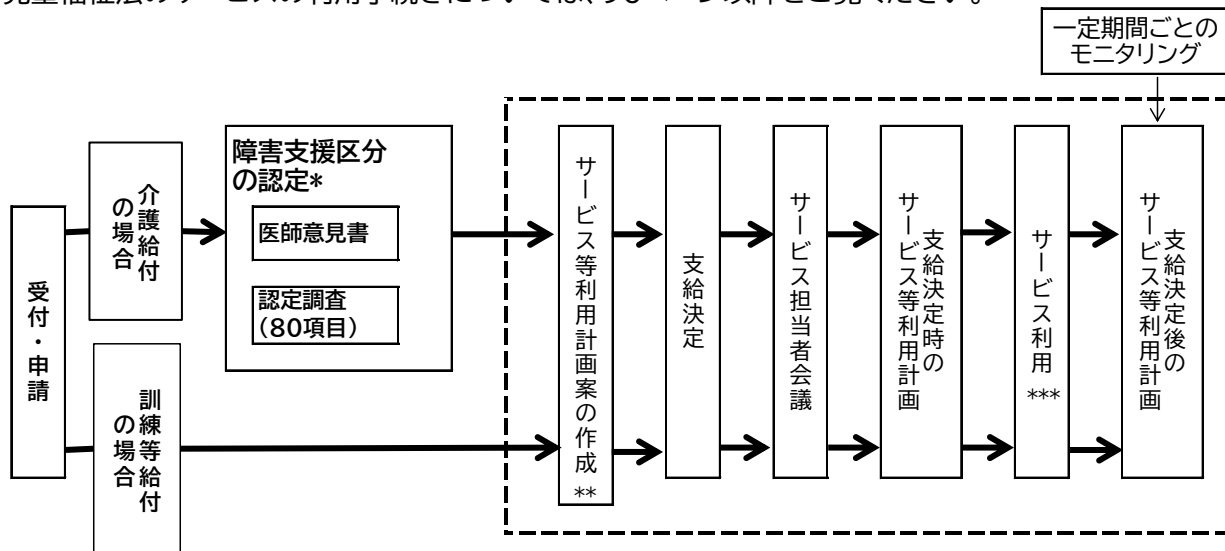
障害児相談支援給付

- ・障害児支援利用援助
- ・継続障害児支援利用援助

2 障害福祉サービスの利用手続き

障害福祉サービスの利用を希望する方は、区役所・宮城総合支所障害高齢課で利用申請を行います。申請の後、下記のような手順で支給決定され利用開始となります。

児童福祉法のサービスの利用手続きについては、96ページ以降をご覧ください。



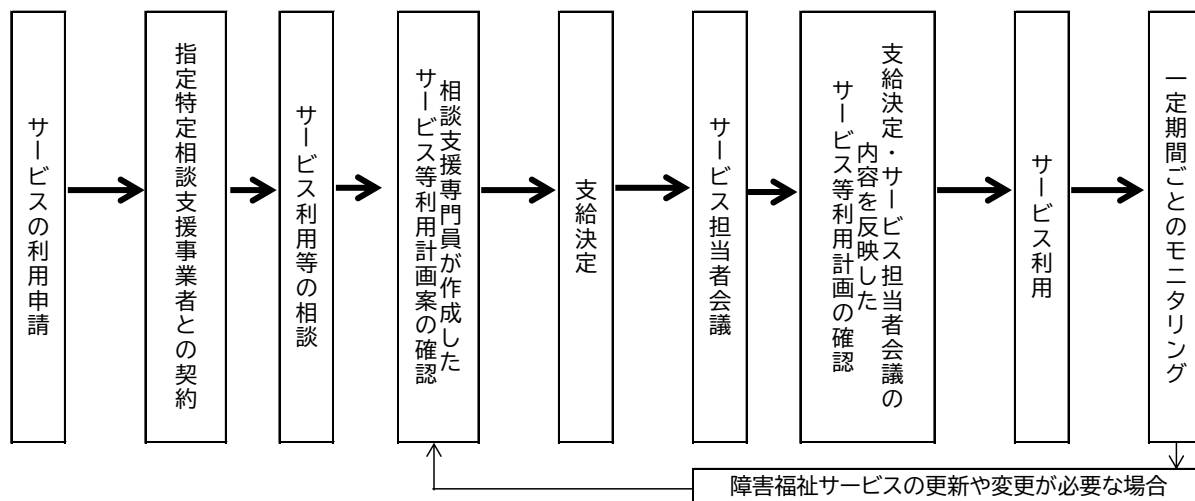
* 障害支援区分とは、障害の多様な特性や心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合いを表す区分(非該当、区分1～6:区分6の方が必要とされる度合いが高い)です。障害児の場合は障害支援区分の認定を必要としません。

** 障害福祉サービスを利用する全ての方を対象に、指定特定相談支援事業所の相談支援専門員が作成します。指定特定相談支援事業所については「施設」のページをご覧ください。ご本人等が作成するセルフプランを提出することもできます。

*** 事業所との利用契約、事業所の個別支援計画の作成が必要です。

3 計画相談支援の流れ

計画相談支援は、利用者の方の状況の変化に応じて、課題の解決や適切なサービスの利用を継続的に支援することを目的としています。サービス等利用計画は、指定特定相談支援事業所の相談支援専門員が作成します。利用者の費用負担はありません。



4 利用者負担等について

(1) 利用者負担について

①負担上限月額の設定

障害福祉サービスの利用者負担は、収入や市町村民税所得割額に応じて次の4区分の負担上限月額が設定され、ひと月に利用したサービス量にかかわらず、それ以上の負担は生じません。

ア 障害者の利用者負担

区分	世帯の収入状況	負担上限月額
生活保護	生活保護受給世帯	0円
低所得	市町村民税非課税世帯	0円
一般1	市町村民税課税世帯(所得割16万円未満) ※ 入所施設利用者(20歳以上)、グループホーム利用者 を除きます。	9,300円
一般2	上記以外	37,200円

イ 障害児の利用者負担

区分	世帯の収入状況	負担上限月額
生活保護	生活保護受給世帯	0円
低所得	市町村民税非課税世帯	0円
一般1	市町村民税課税世帯 (所得割28万円未満)	通所施設 ホームヘルプ利用の場合 4,600円 入所施設利用の場合 9,300円
一般2	上記以外	37,200円

※ 4月1日時点で満3歳となった児童が就学するまでの間、障害児通所支援給付及び障害児入所支援給付(医療部分を除く)を利用する場合、利用料は無料となります。

●所得を判断する際の世帯の範囲

種別	世帯の範囲
18歳以上の障害者(施設に入所する18、19歳を除く)	障害のある方とその配偶者
障害児(施設に入所する18、19歳を含む)	保護者の属する住民基本台帳での世帯

②高額障害福祉サービス等給付費

同じ世帯で他にも障害福祉サービスを利用している方がいる場合や、補装具、児童福祉法に基づくサービス及び介護保険などの複数のサービスを利用している方について、その複数の利用者負担額の合計額が一定の基準額を超えた場合に、その超えた額を償還します。

また、一定の障害福祉サービス(居宅介護、重度訪問介護、生活介護、短期入所)を5年以上継続して利用していた非課税世帯に属する障害支援区分2以上の方が、65歳を迎えてから介護保険のサービスの利用を開始した場合、対象となる介護保険のサービス(訪問介護、通所介護、地域密着型通所介護、短期入所生活介護、小規模多機能型居宅介護)の自己負担相当額を償還します。

(2)実費負担について

入所施設における食費、光熱水費、医療費及び日用品費、通所サービス等における食費は自己負担となります。ただし、収入に応じて減免があります。

入所施設の実費負担減免

低所得者の場合、利用者負担額と実費負担額を支払っても、収入のうち一定額が手元に残るよう減免します。

通所サービスなどの食費軽減

生活保護、市民税非課税及び市民税所得割が16万円未満の世帯の方について負担を軽減します。

資料 障害福祉サービス等の対象となる難病等361疾病(50音順)

あ	アイカルディ症候群	か	環状20番染色体症候群	こ	コステロ症候群
	アイザックス症候群		関節リウマチ		骨形成不全症
	IgA腎症		完全大血管転位症		骨髄異形成症候群
	IgG4関連疾患		眼皮膚白皮症		骨髄線維症
	亜急性硬化性全脳炎		偽性副甲状腺機能低下症		ゴナドトロピン分泌亢進症
	アジソン病		ギャロウェイ・モフト症候群		5p欠失症候群
	アッシャー症候群		急性壊死性脳症		コフィン・シリス症候群
	アトピー性脊髄炎		急性網膜壊死		コフィン・ローリー症候群
	アペール症候群		球脊髄性筋萎縮症		混合性結合組織病
	アミロイドーシス		急速進行性糸球体腎炎		さ
アラジール症候群	強直性脊椎炎	再生不良性貧血			
アルポート症候群	巨細胞性動脈炎	サイトメガロウイルス角膜炎			
アレキサンダー病	巨大静脈奇形 (頸部口腔咽頭びまん性病変)	再発性多発軟骨炎			
アンジェルマン症候群	巨大動静脈奇形 (頸部顔面又は四肢病変)	左心低形成症候群			
アントレー・ピクスラー症候群	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	サルコイドーシス			
い	イソ吉草酸血症	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	三尖弁閉鎖症		
	一次性ネフローゼ症候群	筋萎縮性側索硬化症	三頭筋素欠損症		
	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	筋型糖原病	CFC症候群		
	1p36欠失症候群	筋ジストロフィー	シェーグレン症候群		
	遺伝性自己炎症疾患	クッシング病	色素性乾皮症		
	遺伝性ジストニア	クリオピリン関連周期熱症候群	自己貪食空胞性ミオパチー		
	遺伝性周期性四肢麻痺	クリッペル・トレノネー ・ウェーバー症候群	自己免疫性肝炎		
	遺伝性腭炎	クルーゾン症候群	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症		
	遺伝性鉄芽球性貧血	グルコーストランスポーター 1欠損症	自己免疫性溶血性貧血		
	う	VATER症候群	グルタル酸血症1型	四肢形成不全	
ウィーバー症候群		グルタル酸血症2型	シトステロール血症		
ウィリアムズ症候群		クロウ・深瀬症候群	シトリン欠損症		
ウィルソン病		クローン病	紫斑病性腎炎		
ウエスト症候群		クローンカイト・カナダ症候群	脂肪萎縮症		
ウエルナー症候群		痙攣重積型(二相性)急性脳症	若年性特発性関節炎		
ウォルフラム症候群		結節性硬化症	若年性肺気腫		
ウルリッヒ病		結節性多発動脈炎	シャルコー・マリー・トゥース病		
え		HTLV-1関連脊髄症	血栓性血小板減少性紫斑病	重症筋無力症	
		ATR-X症候群	限局性皮質異形成	修正大血管転位症	
	ADH分泌異常症	原発性局所多汗症	ジュベール症候群関連疾患		
	エーラス・ダンロス症候群	原発性硬化性胆管炎	シュワルツ・ヤンベル症候群		
	エプスタイン症候群	原発性高脂血症	徐波睡眠期持続性棘徐波を 示すてんかん性脳症		
	エプスタイン病	原発性側索硬化症	神経細胞移動異常症		
	エマヌエル症候群	原発性胆汁性胆管炎	神経軸索スフェロイド形成を伴う 遺伝性びまん性白質脳症		
	遠位型ミオパチー	原発性免疫不全症候群	神経線維腫症		
	円錐角膜	顕微鏡の大腸炎	神経フェリチン症		
	お	黄色靭帯骨化症	顕微鏡的多発血管炎	神経有棘赤血球症	
黄斑ジストロフィー		高IgD症候群	進行性核上性麻痺		
大田原症候群		好酸球性消化管疾患	進行性骨化性線維異形成症		
オクシピタル・ホーン症候群		好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	進行性多巣性白質脳症		
オスラー病		好酸球性副鼻腔炎	進行性白質脳症		
か		カーニー複合	抗糸球体基底膜腎炎	進行性ミオクローヌステんかん	
		海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	後縦靭帯骨化症	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	
		潰瘍性大腸炎	甲状腺ホルモン不応症	心室中隔欠損を伴わない 肺動脈閉鎖症	
		下垂体前葉機能低下症	拘束型心筋症	スタージ・ウェーバー症候群	
		家族性地中海熱	高チロシン血症1型	スティーヴンス・ジョンソン症候群	
	家族性良性慢性天疱瘡	高チロシン血症2型	スミス・マギニス症候群		
	カナバン病	高チロシン血症3型	スモン		
	化膿性無菌性関節炎 ・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	後天性赤芽球癆	せ	脆弱X症候群	
	歌舞伎症候群	広範脊柱管狭窄症		脆弱X症候群関連疾患	
	ガラクトース-1-リン酸ウルリジル トランスフェラーゼ欠損症	膠様滴状角膜ジストロフィー		成人スチル病	
カルニチン回路異常症	抗リン脂質抗体症候群	成長ホルモン分泌亢進症			
加齢黄斑変性	コケイン症候群	脊髄空洞症			
肝型糖原病		脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)			
間質性膀胱炎(ハンナ型)					

せ	脊髄髄膜瘤	と	特発性基底核石灰化症	ふ	プリオン病
	脊髄性筋萎縮症		特発性血小板減少性紫斑病		プロピオン酸血症
	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症		特発性血栓症(遺伝性血栓性素因による)		PRL分泌亢進症(高プロラクチン血症)
	前眼部形成異常		特発性後天性全身性無汗症		閉塞性細気管支炎
	全身性エリテマトーデス		特発性大腿骨頭壊死症		β-ケトチオラゼ欠損症
	全身性強皮症		特発性多中心性キャッスルマン病		ベーチェット病
	先天異常症候群		特発性門脈圧亢進症		バスレムミオパチー
	先天性横隔膜ヘルニア		特発性両側性感音難聴		ヘパリン起因性血小板減少症
	先天性核上性球麻痺		突発性難聴		ヘモクロマトーシス
	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症		ドラベ症候群		ペリー症候群
せ	先天性魚鱗癬	な	中條・西村症候群	ハ	ペルーシド角膜辺縁変性症
	先天性筋無力症候群		那須・ハコラ病		ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)
	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症		軟骨無形成症		片側巨脳症
	先天性三尖弁狭窄症		難治頻回部分発作重積型急性脳炎		片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群
	先天性腎性尿崩症		22q11.2欠失症候群		芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症
	先天性赤血球形成異常性貧血		乳幼児肝巨大血管腫		発作性夜間ヘモグロビン尿症
	先天性僧帽弁狭窄症		尿素サイクル異常症		ポルフィリン症
	先天性大脳白質形成不全症		ヌーナン症候群		マリネスコ・シェーグレン症候群
	先天性肺静脈狭窄症		ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症		マルファン症候群
	先天性風疹症候群		脳髄黄色腫症		慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー
そ	先天性副腎低形成症	の	脳表ヘモジゲリン沈着症	ま	慢性血栓性肺高血圧症
	先天性副腎皮質酵素欠損症		膿疱性乾癬		慢性再発性多発性骨髄炎
	先天性ミオパチー		嚢胞性線維症		慢性膀胱炎
	先天性無痛無汗症		パーキンソン病		慢性特発性偽性腸閉塞症
	先天性葉酸吸収不全		バージャー病		ミオクロニー欠神てんかん
	前頭側頭葉変性症		肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症		ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん
	早期ミオクロニー脳症		肺動脈性肺高血圧症		ミトコンドリア病
	総動脈幹遺残症		肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)		無虹彩症
	総排泄腔遺残		肺胞低換気症候群		無脾症候群
	総排泄腔外反症		ハッチンソン・ギルフォード症候群		無βリポタンパク血症
た	ソトス症候群	は	バッド・キアリ症候群	み	メーブルシロップ尿症
	ダイヤモンド・ブラックファン貧血		ハンチントン病		メチルグルタコン酸尿症
	第14番染色体父親性ダイソミー症候群		汎発性特発性骨増殖症		メチルマロン酸血症
	大脳皮質基底核変性症		PCDH19関連症候群		メビウス症候群
	大理石骨病		非ケトーシス型高グリシン血症		メンクス病
	ダウン症候群		肥厚性皮膚骨膜炎		網膜色素変性症
	高安動脈炎		非ジストロフィー性ミオトニー症候群		もやもや病
	多系統萎縮症		皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症		モワット・ウイルソン症候群
	タナトフォリック骨異形成症		肥大型心筋症		薬剤性過敏症候群
	多発血管炎性肉芽腫症		左肺動脈右肺動脈起始症		ヤング・シンブソン症候群
ち	多発性硬化症/視神経脊髄炎	ひ	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	ゆ	優性遺伝形式をとる遺伝性難聴
	多発性軟骨性外骨腫症		ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症		遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん
	多発性嚢胞腎		ビッカースタッフ脳幹脳炎		4p欠失症候群
	多脾症候群		非典型性溶血性尿毒症症候群		ライソゾーム病
	タンジール病		非特異性多発性小腸潰瘍症		ラスムッセン脳炎
	単心室症		皮膚筋炎/多発性筋炎		ランゲルハンス細胞組織球症
	弾性線維性仮性黄色腫		びまん性汎細気管支炎		ランドウ・クレフナー症候群
	短腸症候群		肥満低換気症候群		リジン尿性蛋白不耐症
	胆道閉鎖症		表皮水疱症		両側性小耳症・外耳道閉鎖症
	遅発性内リンパ水腫		ヒルシュブルグ病(全結腸型又は小腸型)		両大血管右室起始症
て	チャージ症候群	ふ	ファイファー症候群	る	リンパ管腫症/ゴーム病
	中隔視神経形成異常症/ドモルミア症候群		ファロー四徴症		リンパ脈管筋腫症
	中毒性表皮壊死症		ファンコニ貧血		類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)
	腸管神経節細胞減少症		封入体筋炎		ルビンシュタイン・テイビ症候群
	TSH分泌亢進症		フェニルケトン尿症		レーベル遺伝性視神経症
	TNF受容体関連周期性症候群		フォンタン術後症候群		レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症
	低ホスファターゼ症		複合カルボキシラーゼ欠損症		劣性遺伝形式をとる遺伝性難聴
	天疱瘡		副甲状腺機能低下症		レット症候群
	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症		副腎白質ジストロフィー		レノックス・ガストー症候群
	特発性拡張型心筋症		副腎皮質刺激ホルモン不応症		ロスムンド・トムソン症候群
と	特発性間質性肺炎	ブラウ症候群	ブラダー・ウィリ症候群	ろ	肋骨異常を伴う先天性側弯症